



- 社名(商号)： 株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ
- 本社所在地： 東京都千代田区麴町三丁目7-4
- 事業エリア： 日本全国
- 定格容量： 198MW (全国827事業) ※2024.03末時点
- 公式HP： <https://www.igrid.co.jp/>

事業領域・実績

GXソリューション事業

PPA事業

国内初 産業向け太陽光PPAサービス



PPAアライアンス事業

アライアンスで地域をGXする
Solar Alliance



GX
インテグレーション
事業

環境に優しく、災害に強い次世代施設

GX Store

- ・ 再生エネルギー100%で運営
- ・ レジリエンス強化
- ・ グリーンEV充電



スマートCO₂ゼロ

未来のために、
脱炭素エネルギーで
電気もゼロの時代。



オンサイトPPAモデル国内No.1シェア※

商業施設の屋根上などへソーラーパネルを設置。発電された電力を施設に売電するビジネスモデル。2017年から当社子会社の株式会社VPP Japanが国内初サービスを開始。

46都府県 / 852施設 198MWの出力規模

提携パートナーとのアライアンスで地域の脱炭素化を推進

地方自治体・金融機関・地域企業などとのパートナーシップにより、各地域の脱炭素化を具体的に推進するソーラーアライアンス事業を23年2月より開始。

第一弾：23年2月 JA三井リースグループおよび農林中央金庫と提携開始

複数のGXソリューションをプラットフォームで統合提供

屋根上太陽光、産業用蓄電池、EV充電システム、エネマネソリューションなどを、独自開発のプラットフォームで統合管理。次世代型施設「GXストア」を構築。

第一弾：23年4月 ジョイフル本田（ホームセンター）竣工

事業所・家庭向けにCO2ゼロ電力を供給

法人や家庭向けに、再生可能エネルギーを中心とした電力や非化石証書を提供

累計約31万契約の供給実績

主な受賞実績



令和4年度
新エネルギー大賞



※ 富士経済 2023年度太陽電池関連技術・市場の現状と将来展望 / 第三者所有モデル(PPAモデル、リース)・非住宅(10kW以上)・2022年度実績

対象エリア

全国

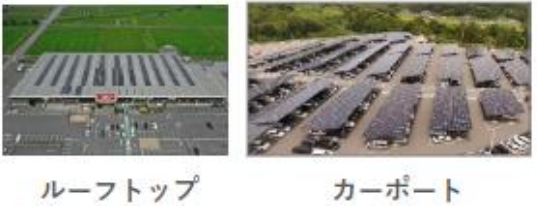
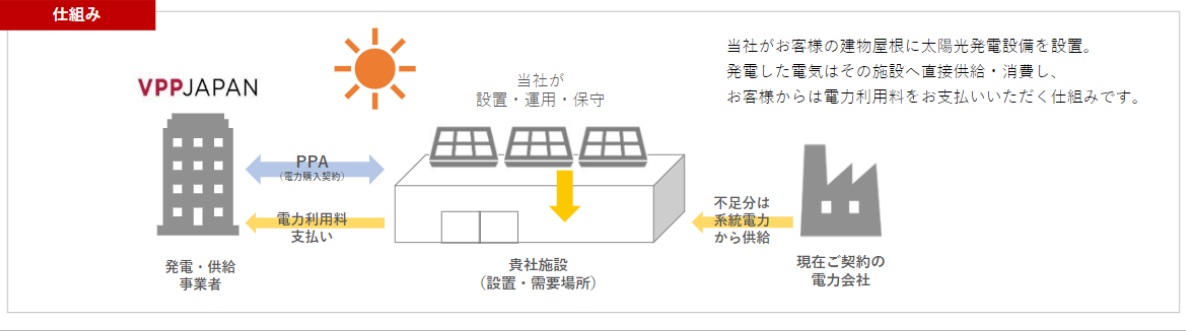
取組み概要

自然にやさしい屋根上太陽光発電PPAモデル

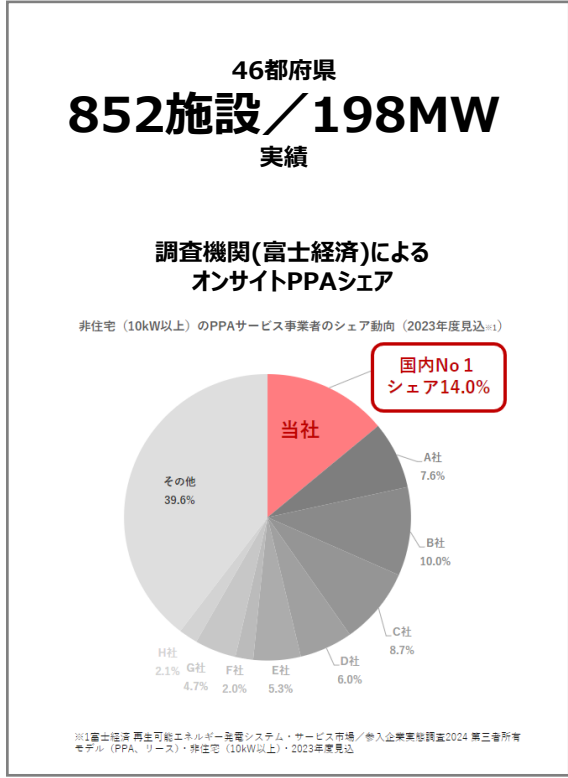
当社がお客様の建物屋根に太陽光発電設備を設置。

発電した電気はその施設へ直接供給・消費し、お客様からは電力利用料をお支払いいただく取組み。

初期投資ゼロ・維持管理ゼロで経済的に再エネ調達ができ、脱炭素に不可欠な電力供給サービスです。



【オンサイトPPA導入事例動画】
 センコーグループホールディングス様
<https://www.youtube.com/watch?v=IOWUTN1rNiE>



事業者	アイ・グリッド・ソリューションズ	エリア	全国
協力者	VPP JAPAN(当社関連会社)	施設名(用途)	スーパーマーケット、物流施設、工場等サプライチェーン企業を中心に導入

取組み概要

余剰循環プラットフォーム「R.E.A.L. New Energy Platform®」



エネルギーリソースの
統合管理・最適制御



- ✓ 再エネを最大活用するために、施設の電力需要や、気象情報などの外部データに加えて、太陽光発電、エネマネシステム、蓄電池、EVなど分散型エネルギー源をネットワーク化し、エネルギー管理を最適化するプラットフォームを独自開発、提供しています。

- ✓ 電力需要の小さな施設の場合は、通常は施設で消費しきれの設計となるため、太陽光パネルの容量が小さくなり、屋根の面積を最大限に活用できないという課題がありました。
- ✓ 当社独自の余剰循環システム「R.E.A.L. New Energy Platform®」により、当社が余剰電力の需給調整をすることで、施設への太陽光導入量を最大化することができます。
- ✓ 余剰電力は、他拠点に活用することができ、企業全体の脱炭素化に貢献できます。

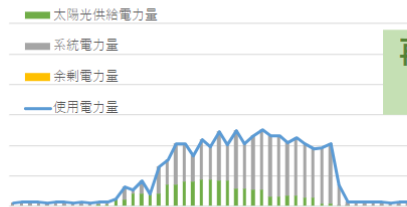
自家消費のみ検討時



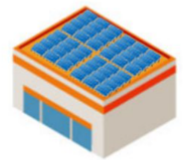
設置容量 70kW

施設使用電力のごく一部

20%しか再エネ調達ができない



余剰循環モデル利用時



設置容量 400kW

昼間は施設使用電力の

90%を再エネで調達

再エネ比率
最大化



地域のお他拠点へ“めぐらせる”

事業者

アイ・グリッド・ソリューションズ

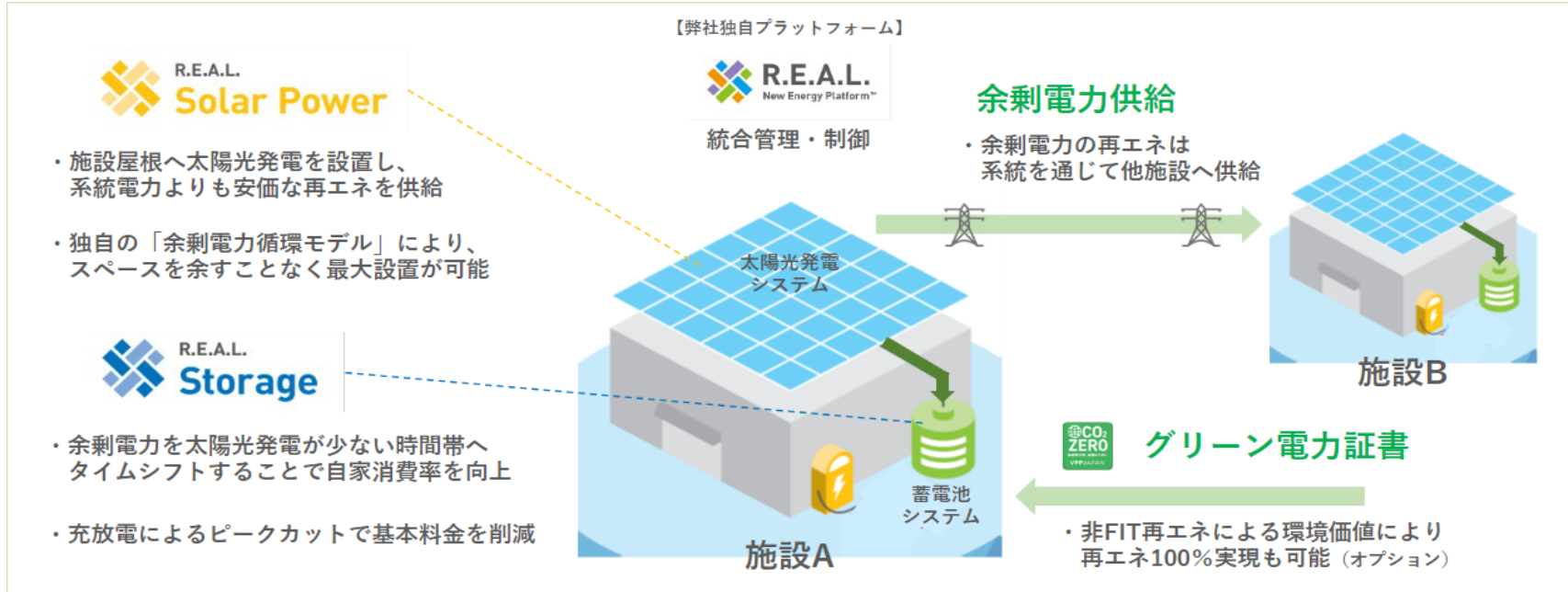
施設名(用途)

スーパーマーケット、物流施設、工場等サプライチェーン企業を中心に導入 約100施設

取組み概要

GX Store / GX Logistics

太陽光発電×蓄電池×余剰電力循環により、施設の再エネ比率を最大化を目指す取り組み。
拠点内、拠点間に電気をめぐらせ、企業全体の脱炭素を推進します。



余剰循環と蓄電池を組み合わせるメリット

- ① **脱炭素推進** 追加性のある再エネ調達、先進的なサステナビリティ推進
- ② **コスト削減** 高騰リスクのある電力購入量を低減し、エネルギー自給率向上
- ③ **BCP対策** 低電時でも電力使用量継続を可能とする体制の構築

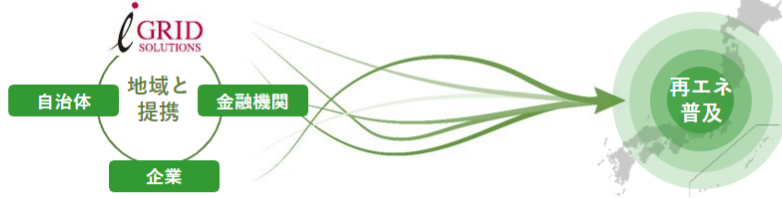
事業者	アイ・グリッド・ソリューションズ	エリア	全国
協力者	VPP JAPAN(当社関連会社)	施設名(用途)	スーパーマーケット、物流施設、工場等サプライチェーン企業を中心に導入

取組み概要

PPAアライアンス

再生可能エネルギーを地域にめぐらせ、再エネの地産地消と**地域循環経済**をめざす取り組み。地域に根差した金融機関の顧客ネットワークを生かし、太陽光PPA事業を共同で行いながら、地域脱炭素の取り組みを加速しています。

Solar Alliance アライアンスで地域をGXする
ソーラーアライアンス



iGRID SOLUTIONS **VPPJAPAN** **iGRID LAB**

オンサイトPPAモデル国内No.1の事業ノウハウ

- ・事業計画立案
- ・ストラクチャードファイナンス
- ・営業推進/設計/機器調達/施工管理
- ・発電所完成後の運営、メンテナンス
- ・余剰電力需給調整

×

自治体 金融機関 企業

地域機関・企業の強みと信頼

- ・地域との密接なネットワーク
- ・ESG融資資金
- ・太陽光設置が可能な施設アセット

各地域の脱炭素化を具体的に推進・実行

主なアライアンス先



事業者	アイ・グリッド・ソリューションズ	エリア	全国
協力者	(プロジェクトにより異なる)	施設名(用途)	(プロジェクトにより異なる)

取組みモデル：余剰電力を活用したEV急速充電サービス

取組み概要

- 当社が小売店・商業施設の駐車場にEV急速充電器を設置し、補助金申請やメンテナンス、課金認証といった各種対応をトータルサポートすることで、来店客向けのEV充電サービス提供を支援します。

<背景>

- 施設での平均的な滞在時間では、普通充電器を利用すると十分な充電ができない場合があり、ホスピタリティの観点からも急速充電器の導入が必要とされています。
- ネックになる電力料金(年間数十万円)は、当社の電力小売事業者としてのノウハウを生かし、導入負担低減モデルを実現しました。



- 本取り組みの第一弾として、株式会社ヤオコー様の都内店舗における導入準備を進めており、年内の充電設備設置・サービス開始を予定。

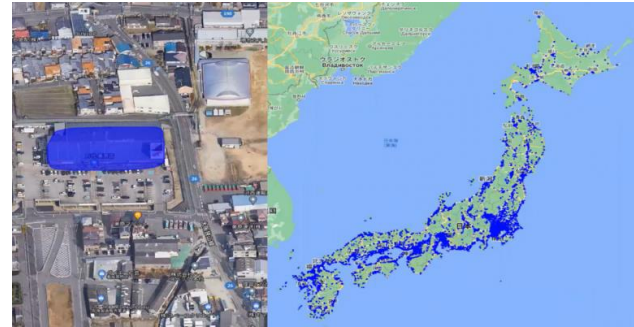
<サービス概要>

- 急速充電器：無償設置 ※東京都先行導入
- 充電器出力：50kW
- 充電設備本体費、工事費、電気代負担：無料
- ※充電器ご利用のEVユーザー様は充電料金のお支払いが必要です。
- 設置場所条件：駐車場台数100台以上、店舗入り口付近の駐車スペースへの設置
- ※設置状況に応じてサービスプランに適用しない場合があります。
- サービスWebサイト：<https://www.igrd.co.jp/realevcharger/>

取組み事例：地域太陽光発電ポテンシャル診断システム

取組み概要

- 地域全体の建物屋根活用のポテンシャルを地図情報で解析・診断する「地域太陽光発電ポテンシャル診断システム」の共同開発を行い、そのβバージョンをアイ・グリッドにて試用開始



<システムが提供する機能>

- 特定の市区町村における特定業種の屋根を活用した太陽光発電について、地域全体での総発電可能量の試算結果を自動算出※βバージョンでは、小売店・倉庫がメイン（現在、工場等他業種への拡張を開発中）
- 本システムの利用者が、指定した特定の建物についての発電可能量の試算結果を自動算出

事業者	(株)アイ・グリッド・ソリューションズ (株)アイ・グリッド・ラボ (株)東京カンテイ (株)みらいソリューションズ 4社による共同開発
スケジュール	2023年9月 試用開始

取組みモデル：環生塾(カーボン・ニュートラル・オフィサー育成プログラム)

取組み概要

官民一体となって学べる場「環生塾」

環境省の提唱する地域循環共生圏構想による脱炭素社会実現を目指し、脱炭素・カーボンニュートラル推進リーダー育成のための高度な知識と情報の習得、さらには仲間づくりの場として、2023年に「環生塾（かんせいじゅく）」を開講しました。

「環生塾」は、公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES） 理事長の武内 和彦氏、環境省 前・環境事務次官 中井 徳太郎氏という環境分野で

日本を代表するお二人がそれぞれ監修・塾長を務める、他にはない特別なプログラムです。

自治体、民間企業、金融機関の脱炭素・カーボンニュートラル部門の責任者やリーダー約40名(第二期)が参加しています。



第二期 環生塾 2024 ～カーボン・ニュートラル・オフィサー (CNO) 養成プログラム～

監修・総括 武内和彦/塾長 中井 徳太郎 会期 2024年1月～12月・全12回 会場 紀尾井カンファレンス 事務局: アイ・グリッド・ソリューションズ

都合により内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。 敬務略

SESSION	タイトル	講師	日時
SESSION 1	地域循環共生圏を目指して ～循環生命文明社会の創造に向けて～	武内 和彦 (IGES 理事長) 中井 徳太郎 (前 環境事務次官)	1月25日 (木) 19:00-22:00
SESSION 2	気候変動の科学とサステナビリティ	江守 正多 (国立環境研究所 地球システム環境上層土壌土壌学部長)	2月22日 (木) 19:00-22:00
SESSION 3	気候変動に関する政策の最新動向 ～「変化」の中の企業と地域～	高村 ゆかり (東京ビジネスセンター 教授)	3月21日 (木) 19:00-22:00
SESSION 4	個人プロジェクト ～自社課題の検討と課題発表～	井上 潤吾 (ボストン・コンサルティング・グループ BCG 顧問オフィス代表 マネージング・ディレクター&シニア・パートナー)	4月20日 (土) 18:00-21:00
SESSION 5	カーボンニュートラル実現とエネルギーの未来	山地 憲治 (公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES) 理事長 東京大学名誉教授)	5月16日 (木) 18:00-21:00
SESSION 6	弘法大師に学ぶ「省エネ技術のイノベーションとその社会実装	森 勇介 (大阪大学大学院 工学部 助教授)	6月20日 (木) 18:00-21:00
SESSION 7	動き出した「みどりの食料システム戦略」 ～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～	枝元 真徹 (水産庁 水産企画課 前 農林水産事務次官)	7月18日 (木) 18:00-21:00
SESSION 8	脱炭素・資源循環に基づく安全・安心な地域づくり	村木 美貴 (工業大学 大学院 工学研究科 教授 (工学))	8月22日 (木) 18:00-21:00
SESSION 9	脱・炭素基金 ～カーボンプライシングとグリーン・トランスフォーメーション (GX) ～	有村 俊秀 (早稲田大学 経済学系 准教授 環境経済学 経営研究所 所長)	9月19日 (木) 18:00-21:00
SESSION 10	地域循環共生圏 自治体の取り組み ～新たな国家戦略 vs. 地域循環共生圏～	諸富 徹 (京橋大学 大学院 経済学系 教授)	10月17日 (木) 18:00-21:00
SESSION 11	個人プロジェクト優秀者 (TOP5) 発表 ～新しい国家戦略と意思決定～	井上 潤吾 (ボストン・コンサルティング・グループ BCG 顧問オフィス代表 マネージング・ディレクター&シニア・パートナー)	11月16日 (土) 18:00-21:00
SESSION 12	修了式 ～私たちはこれからどう社会を変えて行くのか～	武内 和彦 (IGES 理事長) 中井 徳太郎 (前 環境事務次官)	12月21日 (土) 16:00-18:00

開催概要

会期：2024年1月～12月 (前12回)

会場：紀尾井カンファレンス(東京都・千代田区)

参加組織：

民間企業(金融機関以外) 22社

金融機関(地銀他) 9社

行政・自治体・大学 11機関 計42社・機関

